

セカンドステップ

No. 4

発行日：令和6年3月4日

発行：北海道教育庁オホーツク教育局

教育支援課義務教育指導班

小学校第4学年理科

遠軽町立東小学校

単元名：天気の様子「自然のなかの水のすがた」

<本時の目標>

蒸発した水は再び目に見える姿に戻るのかについて既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想をし、検証計画を立てることができる。

<授業の流れ>

- 前時の実験の動画や日常生活における事象の写真から問題を見いだす



蒸発した水は、目に見えるすがたにもどるのだろうか

- 問題について予想し、表現する。



対話で

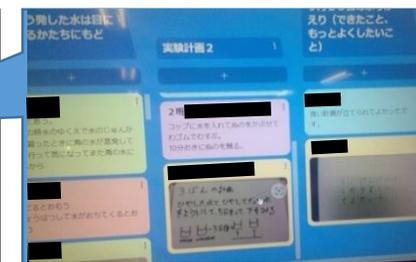


ノートで



端末で

- 各自の予想を**交流**する。
- 予想を確かめるための方法を考え、**表現**する。
- 各班で出された実験方法を**交流**し、次時の実験計画を立てる。



効果的な活用

動画や写真を活用することで、前時の実験の様子や他クラスの実験結果、日常生活の事象等について確認でき、**様々なデータや事象から問題を見いだすことができます。**

個別と協働の選択、端末とノートの選択、説明するためのツールの選択等、**児童が学びたい方法で学ぶことができるようにすることが大切**です。

効果的な活用

他者の考えが閲覧できる場面を設定するために、ノートやホワイトボードに書いた児童や班の考えを写真に撮って**共有**します。

他者と**交流**することにより、自分の考えを**振り返り**、**よりよい考えや表現**を導き出せるように工夫することが大切です。

観察、実験などの指導に当たっては、直接体験が基本ですが、指導内容に応じて、効果的にICTを活用し、児童の学習の場を広げたり、学習の質を高めたりすることが大切です。